

## 第3回『ふれあいトークング～市長と給食当番～』事業記録

1. 日時 平成18年7月10日(月)  
午前11時40分～午後1時15分
2. 実施校 宇都宮市立東小学校  
給食時懇談クラス 3年1組
3. 実施内容  
4時間目の授業を参観(11:40～12:25)・・・全クラスを校長先生の案内により参観

### 給食当番

- ・ 給食当番の児童と配膳を実施

### 食事中

- ・ 市長からのメッセージビデオ放映(要旨)  
皆さんには、大きな夢を持っていただきたいと思います。  
その夢をかなえるためには、一つの良い方法があります。それは、自分の人間力を高めるということです。自分の人間力を高めることによって、夢に近づくことができます。  
その人間力とは、我慢をすることです。いろいろ我慢をしながら、そして自分の人間力を高めて、夢をかなえてください。  
ぜひ皆さんの宇都宮、素晴らしいまちにするためにも、地域の体育祭や文化祭など、いろいろな行事に参加をしてください。
- ・ 食事をしながら、児童と対話

### 児童全体との懇談

- ・ 質問形式で対話  
宇都宮市の人口は、何人くらいですか。  
宇都宮市の人口は、今、約45万7千人。もっと増えるかもわからないよ。

どうして宇都宮市の中心部には、家が集まるのですか。

宇都宮市の中心部もそうですし、宇都宮市というまちに多くの人が集まって来る理由は、やはり宇都宮市が便利だからです。宇都宮市は住むのに便利、だから人が集まってくるのですよ。

それとね、宇都宮市を自慢するとしたら？と言われたら、宇都宮市の自慢はぎょうざだけではないよ。宇都宮市は災害が少ないのです。台風の災害とか、自然災害、土砂崩れとか、川の氾濫とか、地震とか、そういったものがないでしょ。だからね、宇都宮市は日本

でも本当に安全なところだと、そういうこともあるから宇都宮市に人がいっぱい集まってくる。

市長さんは、宇都宮市のどんな仕事をしているのですか。

宇都宮市の皆さんが生活をするときに必要なこと、あるいは困っていること、それとやってもらいたいこと、そういうものを全部まとめて、それをいつやるか、そして、いつまでやるかということを決めます。

例えば、水道。蛇口をひねると水が出てきますね。そういう水道がないところが宇都宮市以外の市や町ではまだあるのです。蛇口をひねればちゃんと出てくる、そういう水道をきちんとつくることとか、いつもみなさんが、朝でも夜中でも水道が使えるようにそれを維持するとか、そういうことを市長として、仕事としています。

宇都宮市は、どのくらい広いのですか。

面積ですね。面積は算数でやりましたか？（児童「やっていません。」）これからやると思うけど。今、宇都宮市の面積は、312平方キロメートルという大きさがあります。これはね、どういう表現で言ったらいいのかな、東京ドームでいくつ分っていうと大きすぎてわからないね。いくつあっても足りないと思う。

宇都宮市は、本当に広いのです。宇都宮市の、312平方キロメートルという大きな土地の中に、宮環状というのがあるのを知っているかな？一つの輪っかになっている大きな大きな道路があります。それが、周囲34キロメートル。山手線は知っているかな？東京を走っている山手線とほぼ同じ距離の大きさなのです。だからね、宇都宮市は本当に広いの。

宇都宮市の建物の造りは、どうなっているのですか。

宇都宮市の建物、宇都宮市が持っているこういう学校とか、それとか文化会館とか図書館とか、そういった建物はきちんと地震にも耐えられるように造ってあるから、心配ありませんよ。大丈夫。

あとね、アスベストって聞いたことありますか？綿ね、石綿。それをあんまり吸ってしまると体に良くないけれども、この小学校もきれいにアスベストを取り除く工事が終わっているの、学校の中では心配ありませんから安心してね。

市長さんが思う宇都宮市の良いところはどこですか。

宇都宮市の良いところは、さっきも言ったけど、災害が少ないところ。

それと農業。みなさん食べているでしょ。「給食ができるまで」と後ろの黒板にも書いてあります。あの材料の中には、農家の人が一生涯命汗をかいてつくってくれる野菜とかお米とかがあります。そういう農業が宇都宮市は盛んであるということ。

そしてもう一つは工業。車をつくったり、車の部品をつくったりする工業。工業も、宇都宮市は大変盛んです。

それと商業ね、商売。パンを売ったり、それとか洋服を売ったりする商売、それも盛んなのですね。

他のまちによっては、農業だけが盛んで、工業も商業も盛んではないところとか、逆のところもあります。

宇都宮市の良さというのは、農業・工業・商業の3つがきちんと盛んであるということ。これは、他のまちに大いに自慢ができることです。これが良いところだと思います。

どうして市長さんになったのですか。

いろいろな人に「市長さんになってちょうだい」と言われたのだけれども、3年1組のみなさんもそうですけど、宇都宮市に住んでいる市民のみなさんが、これからも宇都宮市に住んでいて良かったな、いつまでも宇都宮市に住んでいたいな、そういうまちをつくりたいと思って、市長になりました。

### 【全体との懇談の様子】



私は三重県から引っ越して来て、もう6年も経つのですが、まだ三重県のことしか知らないなので、宇都宮市の中心部のことを教えてください。

宇都宮市の中心部ね、みなさんが通っている東小学校をはじめとするまちの中、中心部は、これからどんどん良くなります。

何が良くなるかという、例えば、宇都宮城の復元。宇都宮城は、江戸時代の終わり頃に、いろいろな国内の戦争で燃やされてしまいました。きれいになくなってしまったのですね。それを今復元しています。昔の形に戻そうということで、来年の3月には、そのお城が完成します。お城といっても、こういう（天守閣のジェスチャー）何階建てのお城で

はなくて、櫓（やぐら）ができますけれども、そういうお城が復活するのです。だから、ぜひ中心市街地の名物として見てもらいたいと思います。

それとね、二荒山神社知っている人？（児童「知っている！」）その二荒山神社の周りに、もうお店が閉店して、ずっと使われていないビルがたくさんあります。誰も住んでない、誰もいない。悲しいけれども、もう10年くらい前にそこで人が亡くなって、ずっとそのままになっていた時もありました。そういうことは、宇都宮市として恥ずかしいよね。まちの中のそうした使われていないビルが、今これからどんどん建て替えられます。

それで、他のまちの人からもうらやましいと思われるような、きれいな建物に立派にこれからなります。ですからみなさんは、中心市街地に行ったら、ぜひそういったところも見てもらいたいと思うし、それも、ぜひ自分たちの自慢にしてください。

三重県も素晴らしいところだけれども、これから宇都宮市のまちもどんどん良くなるよ。ぜひ見てください。